

ほっと

# ボランティア

## 夏のボランティア活動紹介

社協登録ボランティアのみなさんによるさまざまなボランティア活動を紹介します。

### 老人ホームで大正琴コンサート

7月29日、「フレンドリークラブ」が老人ホーム中津川バストライフで懐かしい歌謡曲を大正琴で演奏し、利用者と交流を深めました。



### 福祉施設の夏祭りをお手伝い



7月27日、29日、広済寮にて、「更生保護女性会」が周辺地域のみなさんと、夏祭りの会場準備、草取り、片付けなどを行い、利用者や家族の交流を支援しました。

### おいてん祭で「やさしいまつり」

8月12日、アピタ屋上にて、高齢者や障がいのある方にお祭りを楽しんでいただく「やさしいまつり」に社協登録ボランティアも参加。一緒にお祭りを楽しみました。



被災地から学ぶ中津川での

## 災害ボランティア活動

### 災害ボランティアバス派遣事業

7月13日～16日、岩手県大槌町への復興支援と中津川でのボランティア育成を目的に、ボランティアバス事業を実施し、社協登録ボランティア団体や社協災害ボランティア個人登録者の28名が参加しました。

現地では、大槌町内を巡りながら、大槌町社協職員の方に、震災当時のことや現在のまでの大槌町の様子をお話しいただきました。また、子ども達が安心して海岸で遊べるよう、地元の保育士さんや他県のボランティアさんと、吉里吉里海岸での清掃活動を行いました。

翌日は、津波で流された住宅地で、がれきの撤去や草むしりを行いました。



海岸での清掃活動

当会では今回の経験を活かして、中津川市での災害時に備えてボランティア育成事業を展開していく予定です。



高齢者や障がい者への理解を深める

## 加子母小6年生による福祉体験

加子母小学校6年生の総合学習では、高齢者の方の知恵や貴重な体験を学ぼうと、中津川シニアボランティアさんにご協力いただき、7月4日に高齢者疑似体験を、7月9日には車イス介助・アイマスク視覚障がい者体験を行いました。



### 車イス介助体験

車イスに乗ってみて段差を越える時にすくすく怖かった。もし車いすに乗っていて困っている人がいたら、声をかけて助けてあげたい。

### 高齢者疑似体験

体験セットが重たくて、お年よりの方は、こんなに大変なんだなあと思いました。お年よりの方を見たらその方のペースに合わせて手伝ってあげる事が大切だと思った。



### アイマスク視覚障がい者体験

見て確認している時は感じなかったけど、階段の昇り降りは、とても不安だった。介助者の人が、言葉で誘導してくれたので進んで行くことができた。良い体験ができた。

今回の貴重な体験を基に、秋から冬にかけてデイサービス訪問など、福祉学習を継続していきます。

福祉体験を通じて学ぶ

## 中学生福祉ボランティア基礎講座

毎年開催している「中学生福祉ボランティア基礎講座」を、今年は2会場（①福岡総合保健福祉センター【7月27日】、②中津川市にぎわいプラザ【7月31日】）で開催しました。



▲福岡会場のみなさん

参加した70人の中学生は、地域福祉やボランティアの基礎講義と、アイマスク体験、手話体験、車イス介助体験を行い、日常生活に活かせる福祉活動を学びました。

参加者からは「身近な学校や地域にボランティアで貢献したい」「色々な体験で、相手との信頼関係が大切と学んだ」などの感想がありました。



▲にぎわいプラザ会場のみなさん

元気とお楽しみを地域に届ける！

## 高校生福祉ボランティア講座

8月16日と17日の2日間、福祉の学習とボランティア体験を行う「高校生福祉ボランティア講座」を開催し、市内の高校生16人が参加しました。



### 1日目

地域福祉とボランティアの基礎知識を学ぶとともに2日目に  
行く高齢者ふれあいサロンでの  
出前講座披露に向けて、事前に  
サロン体験を行いました。また、  
五感健康法や中津川レクリエー  
ション協会福祉部の方から手遊  
びの方法などの手ほどきを受け、  
自分たちの出前講座を作りました。

### 2日目

グループごとに中村区・実戸区・会所ヶ丘区・松田区  
の高齢者ふれあいサロンに参加し、  
健康体操やクイズなどを披露しま  
した。

### 高校生の感想

自分たちが作った出前講座で  
高齢者の方々が喜んでくれてい  
るのを見て嬉しかった。楽しく  
社会貢献ができた。  
「自分が楽しむ為にも今後ボ  
ランティア活動を続けたい。」



今回の講座は、地域の高齢者の方々ともふれあうことで地域福祉について考えるきっかけとなりました。

つながる・ひろがる  
ボランティア団体  
紹介コーナー

「おはなしの会」

(発足 S 60 会員数12人)

昭和60年済美図書館主催の朗読講座の受講生が、子ども達に絵本の読み聞かせのボランティアをしたのがはじまりです。

済美図書館のおはなしタイム(第1・3火曜日)での読み聞かせ、会員作成のジャンボかるた・大型紙芝居・お芝居などを行う『お楽しみ会』(年1回)、小学校(年3回)、親子イベントへの参加(公民館講座のあそびの広場・子育てサロン等)を通じて本の楽しさを広げる機会をつくっています。

また、ジャンボかるた・大型紙芝居等の貸出と、ふるさとの唄の掘り起し・伝承など、蛭川の文化や歴史を伝えるための活動もしています。



福祉ボランティアに関することは  
社協地域福祉課にお気軽に  
ご連絡ください

☎06-11111(内6388)

